

新年のご挨拶



肝付町長 永野 和行

あけましておめでとうございませう。皆様には清々しく新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、コロナ感染症が世界中でまん延しました。緊急事態宣言の発令により、帰省や県境をまたぐ移動制限など、様々な制約の下での生活となりました。肝付町においては、町内での感染事案が複数発生しましたが、町民の皆様のご理解のもと、最小限に止めることができました。また、混乱の中で始まったワクチン接種でしたが、地元医師会をはじめ、各医療機関のご協力をいただき、迅速に接種できましたことは、感染症の沈静化へつながる大き

な一歩となりました。コロナ感染症に伴う支援においては、国や県の支援策のほかに、町独自支援の第2弾として、特に影響が大きい分野への支援として、町民や学生、産業へ支援を行いました。

コロナ対策以外のまちの動きを振り返りますと、サツマイモ基腐れ病による被害が収まらず、農業経営に大きな打撃を受けました。今後は、減作に留まらず、離農まで及ぶのではないかと見方もあり、危機感を持っていきます。効果的な対策を模索する一方で、他品目作物への転換推奨も視野に入れ、両建てでの取り組みが必要であると感じています。

教育分野では、岸良地区における子どもたちへの教育の在り方について検討した結果、岸良学園として義務教育学校を新設し、4月から新しくスタートするとなりました。町内の学校では、今後も町内の児童生徒の減少が見込まれており、子どもたちが健やかに成長する環境をどのように整えていくか、課題も残されています。

今年は、5年に一度の全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催されます。和牛王国鹿児島が再び日本一の栄冠をつかみ取るための官民挙げた様々な取り組みが行われ、日本に誇るスマート畜産を実践している本町の

畜産にも大きな経済効果が期待されています。また、イプシロンロケット6号機の打上げも予定されており、内之浦宇宙空間観測所からの民間ロケット打上げへ向けた取り組みにもますます拍車がかかります。町としましては、この好機を逃さず、地域の雇用創出や持続的な経済活動へとつながっていくよう、関係機関と連携して取り組んで参ります。

皆様にとって今年一年が健康で、実り多き年となりますよう祈念申し上げます。